

第4回

応用気象シンポジウム

2026 in ぎふ

地域社会や産業における気象データ活用の最先端を知り、その未来の可能性について考えます。4回目となる今年のメインテーマは『気象×観光』です。

招待講演者

日時

令和8年

3月19日 木

13:00~16:30
(受付: 12:30~)

会場

岐阜市文化センター
小劇場(JR岐阜駅より徒歩10分)

参加費

無料(下のリンクより要申込)

主催

岐阜大学
工学部附属応用気象研究センター

共催
後援

岐阜大学人工知能研究推進センター
気象ビジネス推進コンソーシアム



大橋 唯太 氏
岡山理科大学
生物地球学部



堀 涼 氏
名古屋大学
大学院情報学研究科

● 申込方法 ●

参加ご希望の方は、右のQRコードまたは下記URLにアクセスし、3月10日(火)正午までに参加登録を行ってください。

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~amet/event19.html>

※閉会后、懇親会を開催します。事前登録制のため参加登録と一緒に申し込み下さい。

● 問い合わせ先 ●

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
工学部附属応用気象研究センター事務局

Email: amet@t.gifu-u.ac.jp
TEL: 058-293-2439

申込期限:
3月10日



第4回応用気象シンポジウム・プログラム

●開会前イベント 11:00-12:00

「気象データアナリスト養成プログラム2025 修了式」

会場：岐阜市文化センター小劇場

シンポジウム開会前に同じ会場にて、気象データアナリスト養成プログラム2025の修了者に修了証を授与します。お時間がございましたらご臨席ください。

●第1部：招待講演 13:00-14:30

「観光分野における気象データ利用と社会実装（雲海AI予報システムの紹介）」

大橋 唯太 氏（岡山理科大学）

気象データは、観光分野でも重要な情報として活用されています。日本全国には雲海スポットがたくさん存在しており、シーズンになると多くの観光客やカメラマンが幻想的な光景を楽しみに集まってきます。しかし雲海は気象条件に大きく左右されるため、事前に予報情報があると個人の旅行や地域の観光事業でも役に立ちます。これまで講演者が取り組んできている雲海AI予報システムの開発と、その運用を通しての地域との連携事例を紹介したいと思います。

「岐阜県高山市における歩行者数データの利活用と気象データの交わる場所」

堀 涼 氏（名古屋大学）

2021年ごろより岐阜県高山市の観光エリアにAIカメラを設置して、歩行者数データを収集してきました。このデータは、オープンデータとして高山市HP上で公開しているほか、研究室ではデータ利活用するためのアプリ開発や歩行者数の将来予測の開発などを行ってきました。現在では、このデータは同市において自治体や事業者にも活用されつつあります。講演では、ここまでに至る経緯や、データ利活用において気象データと関係する点について紹介させていただきます。

●第2部：特別企画 14:30-16:30

「グループワーク成果発表会」

岐阜大学気象データ養成プログラム2025 受講生

岐阜大学気象データアナリスト養成プログラムでは、社会人と大学院生からなる6つのグループによるグループワークを半年間かけて実施します。今年度の6つのグループは、観光、農業、防災といったテーマで「気象×〇〇」の分析に熱心に取り組みました。この特別企画では、第3期受講生6グループによる気象ビジネス提案と気象データ分析のグループワーク成果発表を行い、気象データ利活用の未来について議論します。聴講者の皆様の投票によりWDAベストプレゼン賞を決定します。

●閉会後イベント 18:00-20:00

「懇親会」

会場：玉宮折衷ダイニングmotto（岐阜市文化センターより徒歩5分）

シンポジウム閉会後18:00より、別会場（玉宮折衷ダイニングmotto）にて懇親会を開催します。事前申込制です。会費は5,000円です。懇親会に出席希望の方は、シンポジウム参加申込の際にチェックを入れてください。懇親会への参加申込者は、シンポジウム受付の際に会費をお釣りのないようにお支払いください。